



# 環境経営レポート

化成工業株式会社

2024 年度 第 57 期

(対象期間 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



発行日： 2025年6月11日

## 目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

## ごあいさつ

脱炭素社会、カーボンニュートラル、地球温暖化など昨今の環境に対する関心の高まり、世界各地域、団体、学校、企業での取組みなど環境活動がより活発となっています。

当社も環境ISO14001を2001年に取得し活動を行ってきました。現在は独自の環境マネジメントシステムにて運用を行っていますが、更なる環境活動のステップアップと活動の見直し、レベルアップを目指しエコアクション21をベースとして活動に取り組みます。

コロナ禍が少し落ち着き経済活動も戻りつつある中で、受注及び生産が増えてきています。

その中で廃棄物削減、リサイクル、ゴミの分別、CO2削減など課題は多くあります。

すべての従業員が環境に対する意識を高く持って日々の生産活動を行うよう全社で推進していく所存です。

# 環境経営方針

美しい地球環境を守っていく重要性を認識し、環境負荷の継続的低減に努め、企業としての社会的責任を果たしていきます

## 環境保全への行動指針

1. 環境関連の規制・協定及び当社が同意するその他の要求事項を遵守していきます。
2. 技術的・経済的に可能な範囲で環境目的及び目標を定めると共に、汚染の予防、省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努め継続的に改善していきます。
3. 当社は、次のような課題を掲げて全員一丸となり取り組んでいきます。
  - ・品質管理強化で廃プラスチックの減量への貢献
  - ・産業廃棄物の資源化および減量化の推進
  - ・電力使用量の抑制
4. 地域が推進する環境活動に積極的に参加し、支援していきます。
5. 環境方針は全従業員に周知し、また協力会社へも理解、協力を要請します。

制定日：2022年4月1日

代表取締役 **中島 秀明**

## 組織の概要

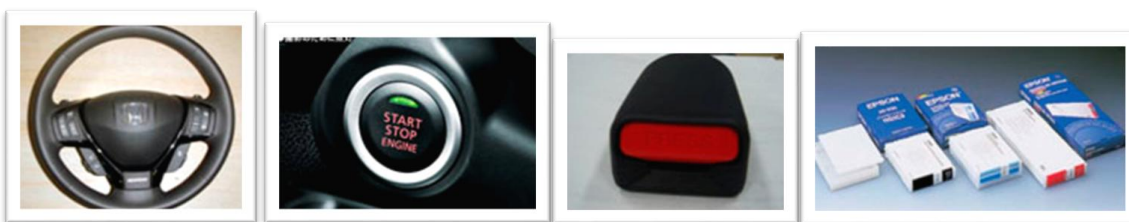
- (1) 名称及び代表者名  
化成工業株式会社  
代表取締役 中島 秀明
- (2) 所在地  
本 社 長野県下伊那郡阿智村春日1533-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 管理部長 金子 和人 TEL : 0265-43-2531  
担当者 管理部 佐藤 祐一
- (4) 事業内容  
プラスチック製品及び金型の製造販売
- (5) 事業の規模  
売上高 5,800百万円  
従業員数 (名) 140名  
延べ床面積 (㎡) 21,500㎡
- (6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

### □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 化成工業株式会社  
対象事業所 : 本 社

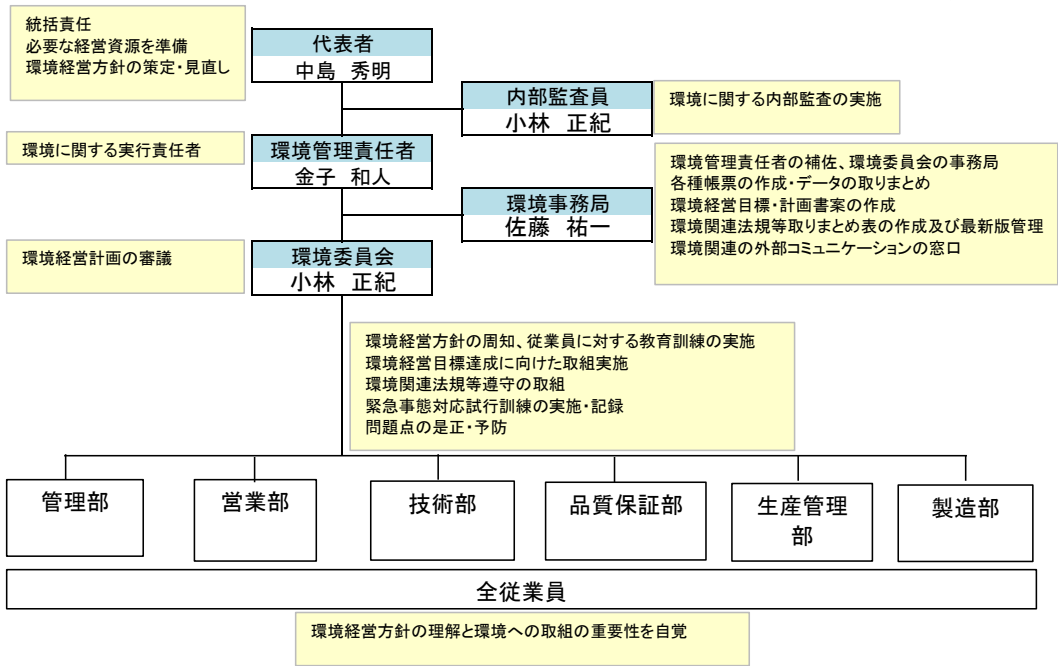
活動 : プラスチック製品及び金型の製造販売

### □事業の紹介



# 環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2025年4月1日



## 主な環境負荷の実績

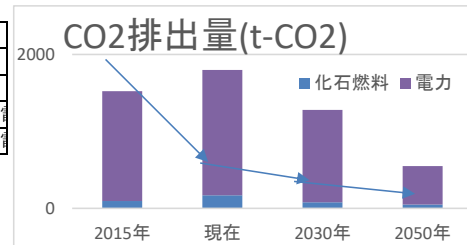
項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,797,828	1,929,790	1,893,370
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	2,400	2,540	2,090
産業廃棄物排出量	kg	95,801	104,183	72,108
水使用量	m <sup>3</sup>	4,060	3,981	4,200
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）			0.351	0.351
		中部電力	中部電力	中部電力

kg-CO<sub>2</sub>/kWh

## カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO<sub>2</sub>

	化石燃	電力	対 策
2015年	95	1428	
現在	169	1628	省エネ+ハイブリッド車
2030年	80	1200	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ
2050年	50	500	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ



## 環境経営目標及びその実績

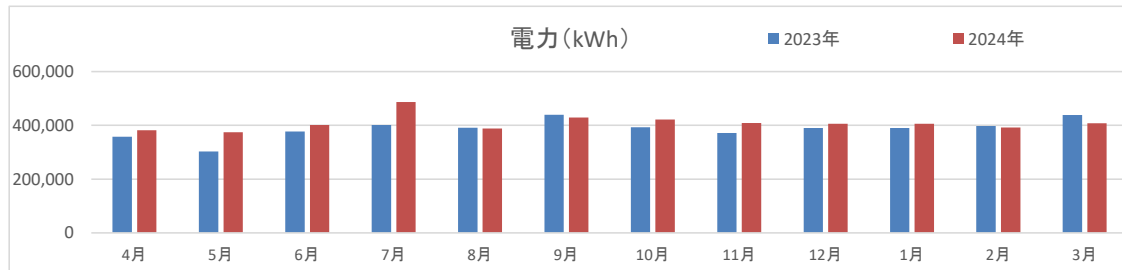
年 度		2022年	2024年		評 価	2025年	2026年
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	1,628,006	1,611,726	1,713,016	×	1,595,446	1,579,166
	基準年度比		99%	105%		98%	97%
生産高原単位							
	kWh/千円	2.084	2.063	1.551	○	2.042	2.021
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	117,563	116,387	123,761	×	115,211	114,036
	基準年度比		99%	105%		98%	97%
生産高原単位							
	kg/千円	0.018	0.017	0.013	○	0.017	0.017
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	2,042	2,021	2,176	×	2,001	1,981
	基準年度比		99%	107%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	50,217	49,715	54,417	×	49,213	48,711
	基準年度比		99%	108%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		1,795,786	1,777,828	1,893,370	×	1,759,870	1,741,912
一般廃棄物の削減	kg	2,540	2,515	2,090	○	2,489	2,464
	基準年度比		99%	82%		98%	97%
廃プラの削減	kg	18,060	17,699	38,805	×	17,338	16,976
	基準年度比		0.98	215%		0.96	0.94
水道水の削減	m <sup>3</sup>	4,060	3,979	4,200	×	3,898	3,816
	基準年度比		98%	103%		96%	94%
化学物質の適正管理		適正管理	適正管理		○	適正管理	適正管理
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み		行動目標(次項による)					
課題を解決しチャンスを活かす取組		行動目標(次項による)					

# 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

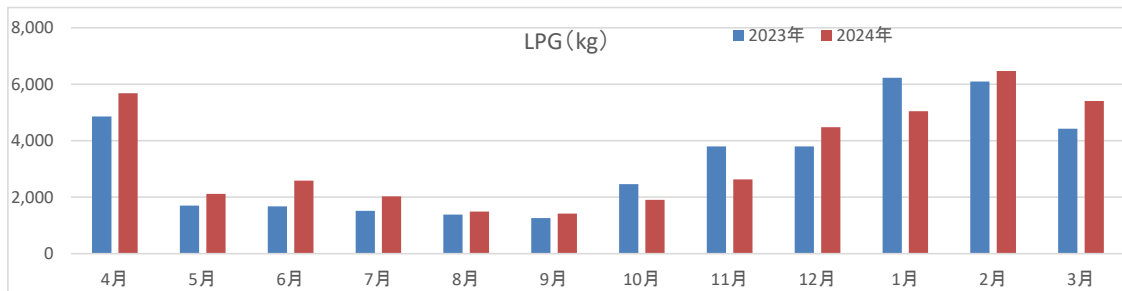
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】前年度対比にて売上増加、大型成形機増設の為、電気使用による二酸化炭素排出量は105%と増加しているが、原単位評価では74%と昨年度末に導入した太陽光発電システムの効果が 出ている。 【次年度の取り組み】夏場の使用量が課題。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	×	
・生産方法の改善による時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



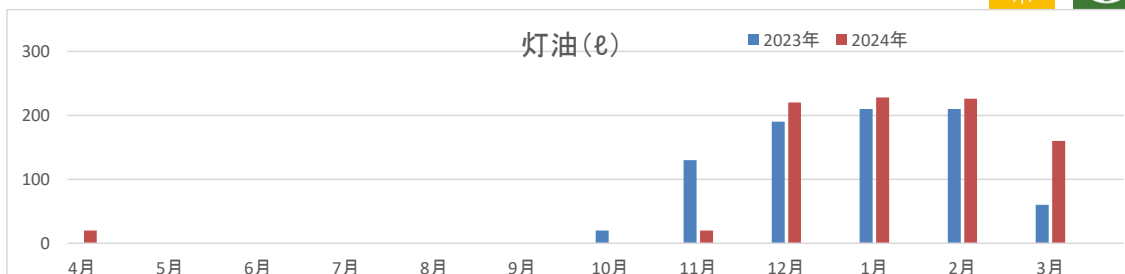
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	357,943	302,424	376,798	401,194	391,027	439,678	392,654	371,779	390,262	390,262	398,042	438,912
2024年	382,162	374,033	400,985	486,634	388,399	429,480	421,651	408,977	406,363	406,363	391,786	407,357

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】受注変動も大きかったが、製造方法改善を行い、原単位でも使用量削減ができた。
原単位目標	○	【次年度の取り組み】使用量については引き続き削減を行う。
・ボイラ・加熱炉の空気比の適正化	○	
・蒸気・温水配管の保温修理	△	
・温水温度の適正化	×	



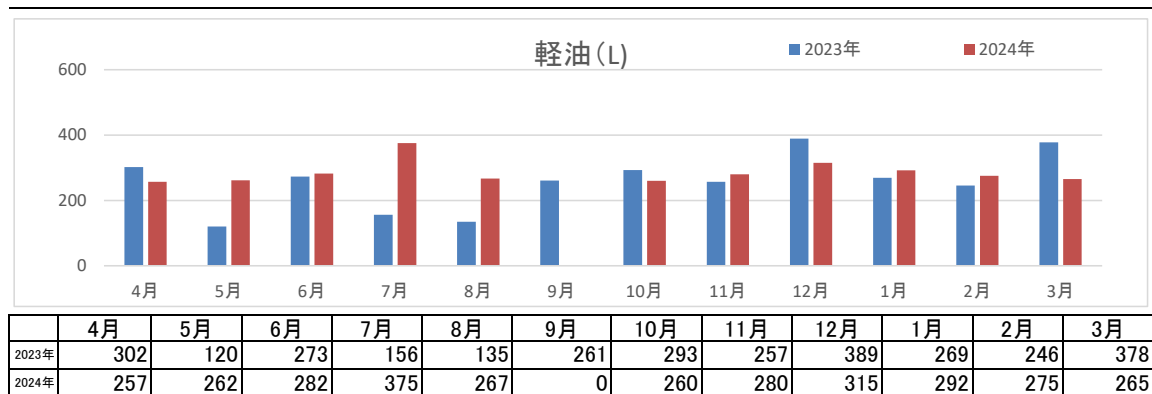
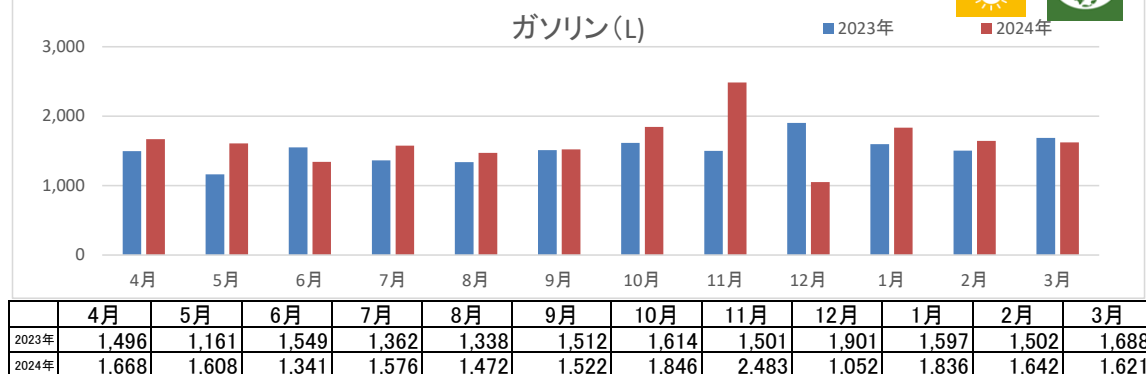
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	4,855	1,699	1,674	1,513	1,384	1,260	2,461	3,794	3,796	6,226	6,098	4,429
2024年	5,685	2,115	2,586	2,025	1,487	1,415	1,909	2,632	4,482	5,040	6,466	5,411

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】従業員の使用方法の徹底を行い、必要最低限の使用で管理できた。
・暖房の温度管理	○	【次年度の取り組み】使用量については引き続き削減を行う。

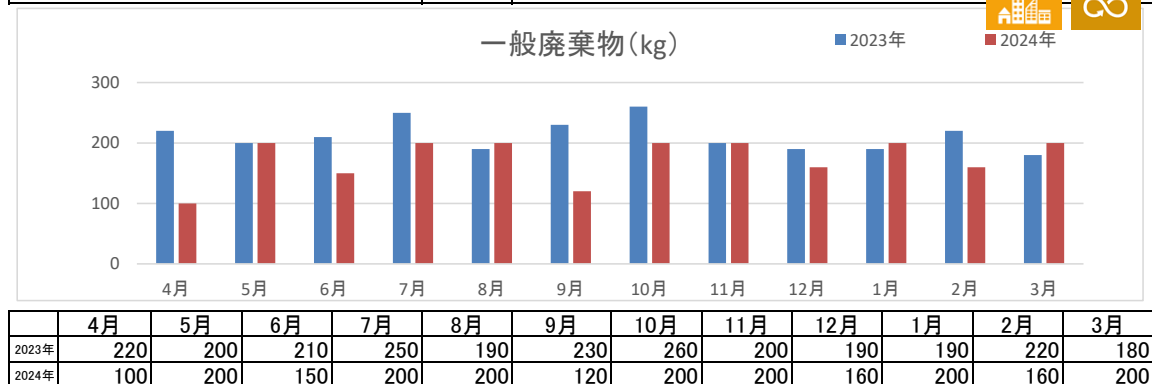


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	0	0	0	0	0	0	20	130	190	210	210	60
2024年	20	0	0	0	0	0	0	20	220	228	226	160

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】新規取引先増、活発な営業活動を行っているため使用量については増加傾向。
・エコドライブの浸透	△	【次年度への取り組み】エコ運転の注意喚起をもっと積極的に行う

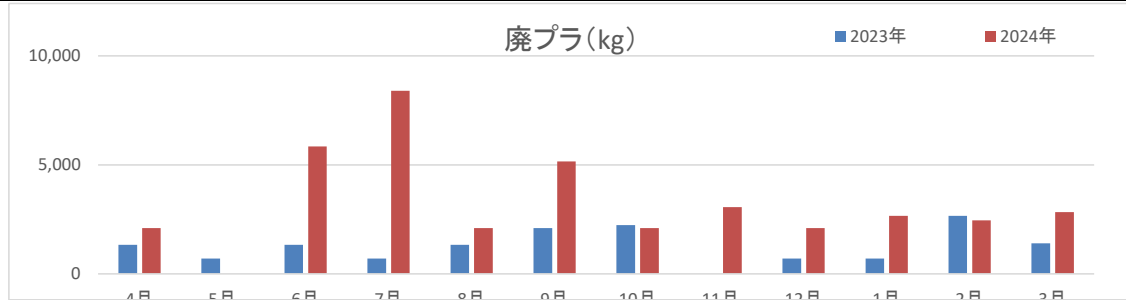


一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】ペーパーレス化1件。
・分別の徹底	○	【次年度の取り組み】更に分別の強化ができないか模索するとともに、書類の電子媒体化を進める。
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	△	



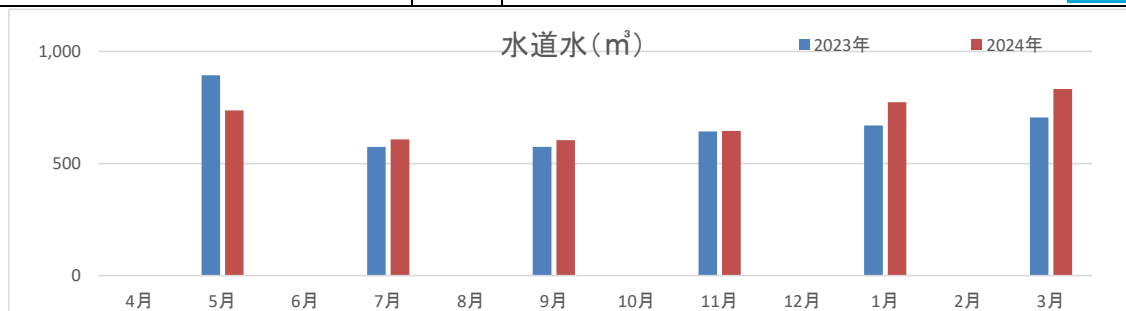


廃プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】処分方法の変更で基準年度比215%となっている
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	【次年度の取り組み】今後も分別を徹底し再資源化を進め削減に努める。
・素材別ボックスの設置	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	1,330	700	1,330	700	1,330	2,100	2,240	0	700	700	2,660	1,400
2024年	2,100	0	5,840	8,400	2,100	5,160	2,100	3,060	2,100	2,660	2,450	2,835

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】生産にはそこまで影響されないが、社員数などの増加により使用量も増加。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	【次年度の取り組み】節水の意識付け、注意喚起を行う。
・自動水栓取り付け	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	0	894	0	574	0	574	0	643	0	670	0	705
2024年	0	737	0	608	0	604	0	645	0	773	0	833

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】化学物質の適正管理ができた。
・リスクアセスメントの実施	○	【次年度の取り組み】次年度も同様に管理する。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・従業員教育	○	



※化学物質管理は塗装用の溶剤等が該当しますが、メーカー指定のものを使うので、自社にて代替等の削減目標を設定できません。この為目標を「適正管理」としました。

## 各事業所の取組紹介

### ＜本社工場＞

- ①樹脂の分別強化、産業廃棄物分別強化
  - ・分別の全体教育(入社時、不定期開催)
  - ・成形作業者のレベルUP、材料替え時によるパージ量削減
- ②不適合品の再利用(継続中)
  - ・製品にもよるが、可能な限り粉碎材として再利用する
- ③節電(継続中)
  - ・デマンド管理
  - ・人感センサーにより証明の点灯消灯を自動化
  - ・LED蛍光灯の導入

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	空気圧縮機、送風機の設置
振動規制法	空気圧縮機の設置
水質汚濁法	洗浄設備の設置
浄化槽法	浄化槽の使用
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

### □外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの環境上の苦情は2024年4月1日～2025年3月31日の間ありませんでした。

## 緊急事態対応の試行・訓練

<b>緊急事態の想定： 火災の発生</b>	
■実施日： 2024/11/4	■実施場所 本社工場
■参加者： 日勤出勤者 75名	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 火災発生を想定した通報、避難訓練	
■評価： 社員の緊急時の対応の理解を深めることができた	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

## 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年5月30日

環境への配慮を経営の重要課題の一つと位置づけ、プラスチック製品製造に伴う環境負荷の低減に取り組んでまいりました。今年度は、売上の増加に伴い生産量が増加し、廃プラスチックの総量が増加する結果となりましたが、生産高当たりの廃プラ排出量では前年より改善が見られ、一定の効果を確認しています。

今後は、単なる削減目標の達成にとどまらず、廃プラスチックの発生抑制・再資源化・社内での再利用の仕組み強化など、より実効性のある循環型生産体制の構築を目指します。また、省エネルギー活動、資源の効率的利用、社員への環境教育を通じて、全社一丸となった環境経営を推進してまいります。

引き続き、エコアクション21の考え方を基盤とし、地域社会や顧客から信頼される企業を目指し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## これまでの環境活動の紹介

- 2024年2月に太陽光発電システムを導入しました



積載太陽光パネル	232kw	
想定年間発電量	255,000kwh	※22年使用量の5%相当
年間発電効果金額	4,590,000円	※燃料調整費、再エネ賦課金含まず